



CHAPTER 7

トラブルシューティング

Cisco Unified Presence パブリッシャのハードウェア障害

Cisco Unified Presence パブリッシャのハードウェアが故障した場合は、同じホスト名、IP アドレス、およびソフトウェア バージョンで新しいマシンに Cisco Unified Presence を再インストールする必要があります。Cisco Unified Presence は、Cisco Unified Presence サーバの物理サーバの MAC アドレスの変化、または Cisco Unified Presence サーバの VMware のライセンス MAC 値の変化を検出します。物理サーバの新しい MAC アドレス、または VMware の新しいライセンス MAC の有効なライセンス ファイルを Cisco Unified Presence にアップロードするまでには、30 日間の猶予期間があります。これには、ライセンスの「再ホスト」を要求する電子メールを licensing@cisisco.com に送信します。

新しいライセンス ファイルをアップロード後は、次の CLI コマンドを実行し、ライセンス マネージャを再起動して猶予期間を停止する必要があります。

```
file delete license <invalid-license-filename>
```



(注)

CLI コマンド `file delete license` は、パブリッシャの再ホストによって無効となったライセンス ファイルの削除にのみ使用できます。まだ有効なライセンス ファイルの手動削除には、このコマンドを使用しないでください。

移行先の新しいサーバの MAC アドレスまたはライセンス MAC 値を含める必要があります。サーバの MAC アドレスまたはライセンス MAC 値を取得するには、Cisco Unified Operating System の管理で [表示 (Show)] > [ネットワーク (Network)] を選択します。30 日間の猶予期間内に有効なサーバライセンスを取得してアップロードしなかった場合は、Cisco Unified Presence の機能にアクセスできなくなり、Cisco Unified Presence は Cisco UP Presence Engine および Cisco UP SIP Proxy サービスをシャットダウンします。

